

# 総合科学教育研究センター教員個人業績

## 凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2012年1月1日から2012年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動



## 高橋 秀晴 教授

<b>I 著書・学術論文等</b>	<p>* 学術論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高橋秀晴「東北とプロレタリア文学―秋田県の場合を例として―」『文学と格差社会―樋口一葉から中上健次まで』(仙台文学館) 2012年 1 月21日、44～45ページ (単著)</li> <li>2) 高橋秀晴「小牧近江書簡資料の実際」『社会文学』(日本社会文学会) 2012年 2 月20日、第35号、33～42ページ (単著)</li> <li>3) 高橋秀晴「「一九二八年三月一五日」草稿ノート考」『2012小樽小林多喜二国際シンポジウム予稿集』 2012年 2 月21日、163～169ページ (単著)</li> <li>4) 高橋秀晴「点描／秋田の近代文学と女性」『mari*mari Life』(秋田魁新報社) 2012年 10月26日～、連載 (単著)</li> </ol>
<b>II 学会報告等</b>	<p>* 学会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高橋秀晴「小林多喜二の創作意識」秋田風土文学会、2012年 2 月11日 (於：あきた文学資料館)</li> <li>2) 高橋秀晴「「一九二八年三月一五日」草稿ノート考」2012小樽小林多喜二国際シンポジウム、2012年 2 月21～23日 (於：小樽商科大学)</li> </ol>
<b>III 社会活動・受賞等</b>	<p>* 社会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年 4 月～</li> <li>2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年 7 月～</li> <li>3) 秋田県教職員健康審査会第 1 部会委員、2006年10月～</li> <li>4) あきた文学資料館収集検討委員、2007年 4 月～</li> <li>5) 秋田県立博物館協議会委員、2007年 7 月～</li> <li>6) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～</li> <li>7) A B S 秋田放送番組審議会副委員長、2008年 7 月～</li> <li>8) 秋田県青少年環境浄化審議会会長、2010年 1 月～</li> <li>9) 私大・短大魅力アップ支援事業審査委員会委員、2010年 6 月～</li> <li>10) 秋田市公文書管理条例検討委員会委員、2011年11月～</li> <li>11) 第29回国民文化祭仙北市実行委員会【秋田の文学・作家を語る】企画委員、2012年10月～</li> <li>12) 海フェスタおが～海の祭典2013 in 秋田～「標語」審査委員、2012年11月</li> </ol> <p>* 学会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年 5 月～</li> <li>2) 日本社会文学会評議員、2007年 7 月～</li> <li>3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年 4 月～</li> <li>4) 日本比較文学会東北支部幹事、2009年 6 月～</li> <li>5) 日本近代文学会東北支部事務局長、2009年 7 月～</li> </ol>

	<p>6)『東北近代文学事典』編集委員、2009年10月～</p> <p>7)『種蒔く人』創刊90周年記念事業実行委員会事務局長、2011年3月～2012年1月</p> <p>8)日本社会文学会理事、2011年6月～</p> <p>9)日本近代文学会東北支部夏季盛岡大会運営、2012年7月7日</p> <p>10)『社会文学』第37号編集・査読委員、2012年7月～</p> <p>11)日本近代文学会東北支部冬季仙台大会運営、2012年12月15日</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1)放送大学秋田学習センター面接授業「秋田の近代文学」、2012年1月7、8日（於：放送大学秋田学習センター）</p> <p>2)「東北とプロレタリア文学」、2012年1月29日（於：仙台文学館）</p> <p>3)平成23年度美の国カレッジ特別公開講座「プロレタリア作家小林多喜二～その国際的評価をめぐって～」、2012年3月4日（於：大館市立中央公民館）</p> <p>4)秋田市女性学習センター講座「日本近代文学史の中の秋田、そして女性」、2012年3月9日（於：サンパル秋田）</p> <p>5)日本文学同好会「金子洋文と『種蒔く人』」、2012年4月1日（於：あきた文学資料館）</p> <p>6)日本文学同好会「金子洋文と『文芸戦線』」、2012年4月22日（於：あきた文学資料館）</p> <p>7)あきた文学資料館文学講座／シリーズⅠ秋田の出版人「新潮社・佐藤義亮の先駆性」、2012年6月30日（於：あきた文学資料館）</p> <p>8)H24美の国アクティブカレッジ「三湖に魅せられた文人たち」、2012年7月21日（於：潟上市昭和公民館）</p> <p>9)高校生のための文学講座「芥川龍之介「羅生門」を読む」、2012年7月28日（於：あきた文学資料館）</p> <p>10)教員免許状更新講習「秋田の近代文学」、2012年7月30日（於：秋田県立大学）</p> <p>11)潟上市・南秋田郡教育研究会国語部会夏季研修会「教育と文学の関係を考えるー秋田の近代文学を視野に入れつつー」、2012年8月16日（於：あきた文学資料館）</p> <p>12)土崎図書館市民文化講座「みんなで語り合う『種蒔く人』の現代的意義」、2012年9月4日（於：秋田市立土崎図書館）</p> <p>13)大学模擬講義「文学を研究するということ」、2012年10月31日（於：秋田県立角館高等学校）</p>
V その他の活動	<p>* 助成研究</p> <p>1)平成24年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による金子洋文研究」（課題番号24520221）研究代表者</p> <p>2)平成24年度秋田県立大学学長プロジェクト（創造的研究費）「初公開資料による小林多喜二研究」研究代表者</p> <p>3)大学コンソーシアムあきた平成24年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」共同研究者</p>

	<p>* 報告書等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「秋田県の活性化のための調査研究」(大学コンソーシアムあきた平成23年度学際的研究プロジェクト、2012年3月26日)</li> <li>2) 「新資料による小牧近江研究」(平成23年度科学研究費補助金実績報告書、2012年5月17日)</li> <li>3) 「初公開資料による小林多喜二研究」(平成23年度学長プロジェクト研究成果報告書、2012年8月31日)</li> </ol> <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2012年4月1日、第116号、28～29ページ(単著)</li> <li>2) 「世界の中の小林多喜二」「あきた文学資料館だより」2012年7月、第13号、1ページ(単著)</li> <li>3) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2012年9月1日、第117号、37～38ページ(単著)</li> <li>4) 「プロレタリア文学の作家たち」「民主文学第37回山の文学学校」2012年10月(単著)</li> </ol> <p>* 記事・取材協力等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 編集協力『文学と格差社会』(仙台文学館)2012年1月21日</li> <li>2) 「情報チャンネルa／女性学習センターの講座」『広報あきた』No.1763、2012年2月17日、19ページ</li> <li>3) 「地域情報」『秋田魁新報』2012年3月1日</li> <li>4) 「多喜二テーマに講座／美の国カレッジ／業績、生き方を学ぶ」『北鹿新聞』2012年3月5日</li> <li>5) 「DVD－ROM版多喜二草稿ノートを読む／国際シンポから／修正の過程や苦闘直筆原稿が伝える」『赤旗』2012年3月20日</li> <li>6) 「大学コンソーシアムあきた／「意欲ある若者支援を」／中央街区活性へ提言」『秋田魁新報』2012年3月27日</li> <li>7) 「ふるさとの文学を読み継ぐ～あきた文学資料館の紹介～／高校生にも文学を」『教育あきた』No.708、2012年3月28日、14ページ</li> <li>8) 「4 大学教授が提言／秋田市活性化／若者支援など6項目」『毎日新聞』2012年3月30日</li> <li>9) 「あきた文学資料館が講座」『秋田魁新報』2012年5月14日</li> <li>10) 「学術研究プロジェクト／「秋田の中心市街地の活性化に向けて－これまでの活性化政策がうまくいかなかった原因の究明と今後の克服策についての提言」」『大学コンソーシアムあきた平成23年度事業報告』2012年7月、5ページ</li> <li>11) 「「門」と共に編集者書簡も／教え子の樗陰記す／「漱石直筆」の鑑定書か」『朝日新聞』、2012年8月4日</li> <li>12) 「マリマリ ライフ創刊／10.26金／スタート!!」『mari*mari Life』創刊予告号、2012年10月12日</li> </ol>
--	--

	<p>*被書評・引用・言及等</p> <p>1) 言及「『種蒔く人』創刊90周年」『あきた文学資料館だより』（あきた文学資料館）2012年1月</p> <p>2) 言及「『種蒔く人』創刊九〇周年に寄せて」『社会文学』（日本社会文学会）2012年2月20日、第35号、2ページ</p> <p>3) 言及「『種蒔く人』創刊九〇周年に寄せて一金子洋文研究と今野賢三初期著作目録稿一」『社会文学』（日本社会文学会）2012年2月20日、第35号、44、46、47、52ページ</p> <p>4) 言及「種蒔く人90周年印象記」『社会文学通信』（日本社会文学会）2012年5月12日、第95号、6ページ</p> <p>5) 言及「小林多喜二—その作品が現代に問いかけるもの」『瀬戸文学通信』（日本民主主義文学会呉支部）2012年11月、vol 223 別冊、10ページ</p>
--	---

## 渡部 諭 教授

I 著書・学術論文等	<p>*学術論文等</p> <p>1) 澁谷泰秀、<u>渡部諭</u>「高齢者における自己効力と詐欺犯罪被害傾向及び生活の質との関連性：高齢者の未来展望からの示唆」『青森大学・青森短期大学学術研究会研究紀要』（青森大学・青森短期大学学術研究会）2012年7月、第35巻第1号、181-202ページ（共著）</p> <p>2) 小久保温、澁谷泰秀、吉村治正、<u>渡部諭</u>「Web 社会調査のためのマルチ・デバイスに対応したユーザー・インターフェイスの設計」『青森大学・青森短期大学学術研究会研究紀要』（青森大学・青森短期大学学術研究会）2013年2月、第35巻第3号（共著）</p> <p>3) <u>渡部諭</u>、澁谷泰秀「高齢者における自己効力と詐欺犯罪被害傾向及び生活の質との関連性：高齢者の未来展望からの分析」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2013年3月31日、第14号（共著）</p>
II 学会報告等	<p>*学会報告</p> <p>1) <u>渡部諭</u>、澁谷泰秀「高齢者の詐欺被害傾向と未来展望」日本心理学会第76回大会、2012年9月11日～13日（於：専修大学）</p> <p>2) <u>渡部諭</u>、澁谷泰秀「高齢者の詐欺被害傾向と未来展望の検討」日本行動計量学会第40回大会、2012年9月13日～16日（於：新潟県立大学）</p> <p>3) <u>渡部諭</u>「若年者と高齢者のブログに表れたパーソナリティタイプの相違」ARG 第1回 Web インテリジェンスとインタラクション研究会、2012年12月14日・15日（於：神奈川近代文学館）</p> <p>4) <u>渡部諭</u>、澁谷泰秀「高齢者の詐欺犯罪被害傾向と未来展望との関連性」日本認知科学会第29回大会、2012年12月13日～15日（於：東北大学）</p> <p>5) 小久保温、澁谷泰秀、吉村治正、<u>渡部諭</u>「社会調査のためのマルチデバイス Web アンケートシステムの開発」情報処理学会第75回全国大会、2013年3月6日～8日（於：</p>

	東北大学)
Ⅲ 社会活動 ・受賞等	<p>* 受賞等</p> <p>1) 社会人基礎力育成グランプリ2013北海道・東北地区予選大会奨励賞、2012年11月30日</p>
Ⅳ 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 免許状更新講習講師「秋田の児童・生徒の自尊感情を調べよう」、2012年11月3・23日（於：秋田県立大学）</p>
Ⅴ その他の活動	<p>1) 2011～2012年度三菱財団研究助成金報告書</p> <p>2) 2011～2012年度三井住友海上福祉財団研究助成報告書</p>

## 小松田 儀貞 准教授

Ⅰ 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) 小松田儀貞「生命と政治—M・フーコーにおける生権力・生政治・統治性—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、21～33ページ（単著）</p>
Ⅱ 学会報告等	<p>* 研究会報告</p> <p>1) 小松田儀貞「東日本大震災・原発事故後の秋田～避難者の状況と“秋田うつくしま県人会”の活動～」基盤研究（A）「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」定例研究会、2012年9月18日（於：福島大学サテライト街なかランチ舟場）</p> <p>2) 小松田儀貞「バイオテクノロジーと生政治（バイオポリティクス）の未来—生命科学／技術と現代社会のゆくえ—」社会理論研究会、2012年9月29日（於：東洋大学白山キャンパス）</p>
Ⅲ 社会活動 ・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) エフエム秋田番組審議委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）</p> <p>2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 第45回環境社会学会 八郎湖現場見学ツアー コーディネーターおよび同大会シンポジウム司会。シンポジウム「住民主体の八郎湖再生に向けて：展望と課題」2012年6月2日（於：ホテルサンルーラル大潟）</p>
Ⅳ 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 講師「県内避難者について」「学生のための災害ボランティア講座」、2012年5月12日</p>

(於：カレッジプラザ)

## 小池 孝範 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) 小池孝範「「知育」と「徳育」との関係について——木村素衛「知育と徳育とについて」を手がかりに——」『プロテウス』(仙台ゲーテ自然学研究会) 2012年3月31日、第14号、105～127ページ(単著)</p> <p>2) 小池孝範、清多英羽、奥井現理、紺野祐、走井洋一「学校教育における宗教教育の可能性と限界について——「宗教的情操」を中心として——」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2012年3月31日、第13号、35～51ページ(共著)</p> <p>3) 走井洋一、小池孝範、清多英羽、奥井現理、紺野祐「道徳教育にとって道徳とは何か」『東京家政大学研究紀要(1) 人文社会科学』(東京家政大学) 2012年3月23日、第52集、9～19ページ(共著)</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) 小池孝範「教化学と教育学」『日本仏教教育学研究』(日本仏教教育学会) 2012年3月31日、第20号、121～125ページ(単著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) 小池孝範「情操教育の可能性と限界—木村素衛の「教育愛」をてがかりに—」北東北死生学研究会第4回定例会、2012年3月6日(於：ホテル白萩・仙台)</p> <p>2) 小池孝範「「いのちの教育」における「自尊感情」の育成に関する原理的研究」北東北死生学研究会第5回定例会、2012年8月25日(於：秋田大学)</p> <p>3) 小池孝範「自尊感情と行」日本仏教教育学会第21回学術大会、2012年12月8日(於：岐阜聖徳学園大学)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 学会活動</p> <p>1) 『プロテウス』編集委員、2012年1月～</p> <p>2) 『日本仏教教育学研究』編集委員、2012年4月～</p> <p>3) 東北教育哲学教育史学会役員(監査)、2012年9月～</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 小池孝範「みんなが集まれる場所づくり」NPO やまがた育児サークルランド主催、2012年2月29日(於：山形市霞城公民館)</p> <p>2) 秋田県教員免許状更新講習講師「教育の最新事情領域」、2012年8月1日(於：横手プラザホテル)</p> <p>3) 秋田県教員免許状更新講習講師「教育の最新事情領域」、2012年8月20日(於：秋田テ</p>



	ルサ) 4) 秋田県教員免許状更新講習講師「教育の最新事情領域」、2012年 8 月20日 (於：秋田市文化会館)
V その他の活動	* 助成研究 1) 平成24年度文教協会研究助成「「未来展望」を持つ学生を育てるキャリア教育に向けて」研究分担者 2) 平成24年度秋田県立大学学長プロジェクト研究費「本学学生は未来展望を持っているか～本学独自の新しいキャリア教育に向けて」研究分担者

内山 応信 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書 『地域高齢者のための転倒予防—転倒の基礎理論から介入実践まで—』(杏林書院) 2012年 3 月20日 (共著)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) <u>Uchiyama M</u>、Demura S「Proposal to use an obstructed timed "up &amp; go" test to assess the risk of falling in healthy elderly individuals」『Baltic Journal of Health and Physical Activity』2012年12月、147～154ページ (共著)</p> <p>2) Yamaji S、Demura S、Sohee S、<u>Uchiyama M</u>「Reliability of a new rapid step test for older women and its relationship with fall risk and leg muscle function」『Health』2012年 9 月、第 4 巻 (Special Issue 1)、703～701ページ (共著)</p> <p>3) Kawabata H、Demura S、<u>Uchiyama M</u>「Reliability and Sex Differences in a Coordination Test of a Tracking Moving Target with the Center of Foot Pressure」『Advances in Physical Education』2012年 8 月、第 2 巻 3 号、77～81ページ (共著)</p> <p>4) <u>Uchiyama M</u>、Demura S、Natsuhori E「Changes in gait properties during texting messages by a cell phone. Attention and gait control」『Gazzetta Medica Italiana』2012年 6 月、第171巻 3 号、331～340ページ (共著)</p> <p>5) Demura S、Sato S、Shin S、<u>Uchiyama M</u>「Setting the criterion for fall risk screening for healthy community-dwelling elderly」『Archives of gerontology and geriatrics』2012年 4 月、第54巻 2 号、370～373ページ [Epub 2011 May] (共著)</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、山田孝禎、川端悠「種々の立位条件での姿勢制御における視覚の貢献度」『体力科学』(日本体力医学会) 2012年12月 1 日、第61巻 6 号、572ページ (共著)</p> <p>2) 川端悠、出村慎一、<u>内山応信</u>、高橋憲司「移動視標を COP により追従する全身の調整力テストとバランステストとの関係」『体力科学』(日本体力医学会) 2012年12月 1 日、第61巻 6 号、570 (共著)</p>
------------	---

	<p>3) 佐藤進、出村慎一、<u>内山応信</u>、菅野紀昭「地域高齢者の転倒リスク保有数と転倒率および ADL 能力の関係」『体力科学』(日本体力医学会) 2012年12月 1 日、第61巻 6 号、656ページ (共著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、北林保、山田孝禎「不安定姿勢時の姿勢制御における視覚情報の役割一足圧中心同様を用いた基礎研究」日本体育学会第63回大会、2012年 8 月24日 (於：東海大学湘南キャンパス)</p> <p>2) 山田孝禎、出村慎一、<u>内山応信</u>、久保田浩史「ロータリーエンコーダーにより測定された高齢者の椅子立ち上がり動作時における体重新移動速度の妥当性と 3 次元動作解析との関係」日本体育学会第63回大会、2012年 8 月22日 (於：東海大学湘南キャンパス)</p> <p>3) 野口雄慶、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>「超音波画像診断法による腹筋厚測定値と腹部筋力発揮値との関係」日本体育学会第63回大会、2012年 8 月22日 (於：東海大学湘南キャンパス)</p> <p>4) <u>内山応信</u>、出村慎一、北林保、山田孝禎、松田繁樹「大学生における体力と精神的健康との関連一横断的資料に基づく基礎的検討一」第60回日本教育医学会記念大会、2012年 8 月26日 (於：筑波大学)</p> <p>5) 長澤吉則、出村慎一、<u>内山応信</u>、野口雄慶、高橋憲司「スポーツリハビリ参加高齢者の顕在性不安尺度の年代差および性差」第60回日本教育医学会記念大会、2012年 8 月26日 (於：筑波大学)</p> <p>6) 北林保、出村慎一、長澤吉則、<u>内山応信</u>、松田繁樹「外乱刺激(左右・前後振動)による重心動揺特性の比較一振動マシンを利用して一」第60回日本教育医学会記念大会、2012年 8 月26日 (於：筑波大学)</p> <p>7) <u>内山応信</u>、出村慎一、山田孝禎、川端悠「種々の立位条件での姿勢制御における視覚の貢献度」第67回日本体力医学会大会、2012年 9 月16日 (於：長良川国際会議場・岐阜都ホテル)</p> <p>8) 川端悠、出村慎一、<u>内山応信</u>、高橋憲司「移動視標を COP により追従する全身の調整力テストとバランステストとの関係」第67回日本体力医学会大会、2012年 9 月16日 (於：長良川国際会議場・岐阜都ホテル)</p> <p>9) 佐藤進、出村慎一、<u>内山応信</u>、菅野紀昭「地域高齢者の転倒リスク保有数と転倒率および ADL 能力の関係」第67回日本体力医学会大会、2012年 9 月14日 (於：長良川国際会議場・岐阜都ホテル)</p> <p>* ワークショップ</p> <p>1) 内山応信「日本体育学会測定評価分科会企画統計相談、測定・調査・テスト部門、統計相談員」日本体育学会第63回大会、2012年 8 月22日 (於：東海大学湘南キャンパス)</p> <p>* 学会報告座長</p> <p>1) 第60回日本教育医学会記念大会口頭発表セッション、2012年 8 月26日 (於：筑波大学)</p>

<p>Ⅲ 社会活動</p> <p>・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実効委員会委員、2011年 5 月～</p> <p>2) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年 5 月～</p> <p>3) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年 4 月～</p> <p>4) 秋田市北部バレーボール指導者会小学生バレーボール大会実行委員会副委員長、2010 年 2 月～</p>
<p>Ⅴ その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会、挑戦的萌芽研究、「運動器不安定症高齢者の易転倒性と具体的支援策を評価するシステムの開発」(Research Project Number : 23650431)、2010年 4 月～2014年 3 月、研究協力者</p> <p>2) 日本学術振興会、若手研究 (B)、「歩行時の転倒を感知する各種感覚の閾値と優先度の解明—転倒予防の基礎的検討」(Research Project Number : 22700695)、2010年 4 月～2013年 3 月、研究代表者</p> <p>3) 日本学術振興会、基盤研究 (A)、「生活自立高齢者のための包括的な転倒予防システムの構築」(Research Project Number : 21240064)、2009年 4 月～2013年 3 月、連携研究者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 科研費実績報告書：日本学術振興会、若手研究 (B)、「歩行時の転倒を感知する各種感覚閾値と優先度の解明—転倒予防の基礎的検討」(Research Project Number : 22700695)、2010年 4 月～2013年 3 月、研究代表者</p> <p>* 被書評・引用・言及等</p> <p>1) 被引用：Demura S、Sato S、Shin S、<u>Uchiyama M</u> 「Setting the criterion for fall risk screening for healthy community-dwelling elderly」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2012年、第54巻 2 号、370～373ページ</p> <p>・Hsu CL、Nagamatsu LS、Davis JC、Liu-Ambrose T 「Examining the relationship between specific cognitive processes and falls risk in older adults : A systematic review」『Osteoporosis International』2012年、第23巻10号、2409～2424ページ</p> <p>2) 被引用：Demura S、Yamada T、<u>Uchiyama M</u>、Sugiura H、Hamazaki H 「Selection of useful items for fall risk screening for community dwelling Japanese elderly from the perspective of fall experience, physical function, and age level differences」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2012年、第53巻 2 号、123～130ページ</p> <p>・Taylor D、Hale L、Schluter P、Waters DL、Binns EE、McCracken H、McPherson K、Wolf SL 「Effectiveness of tai chi as a community-based falls prevention intervention : A randomized controlled trial」『Journal of the American Geriatrics Soc</p>

	<p>iety』2012年、第60巻5号、841～848ページ</p> <p>3) 被引用：Demura S、<u>Uchiyama M</u>「Combined effects of bag holding and obstacle avoidance on gait characteristics：A kinematic study in healthy young adults」『Hong Kong Journal of Occupational Therapy』2009年、第19巻2号、36～43ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yoon JY、Lim WT、Oh JS「Influence of the strap-length on the trunk motion and gait symmetry in Korean women carrying a single-strap bag」『Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation』2012年、第25巻4号、269～274ページ</li> </ul> <p>4) 被引用：Demura S、<u>Uchiyama M</u>「Influence of anaerobic and aerobic exercises on the center of pressure during an upright posture」『Journal of Exercise Science and Fitness』2009年、第7巻1号、39～47ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Erkmén N、Suveren S、Goktepe A「Effects of exercise continued until anaerobic threshold on balance performance in male basketball players」『Journal of Human Kinetics』2012年第33巻1号、73～79ページ</li> </ul> <p>5) 被引用：<u>Uchiyama M</u>、Demura S「The role of eye movement in upright postural control」『Sport Sciences for Health』2009年、第5巻1号、21～27ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Grace Gaerlan M、Alpert PT、Cross C、Louis M、Kowalski S「Postural balance in young adults：The role of visual, vestibular and somatosensory systems」『Journal of the American Academy of Nurse Practitioners』2012年第24巻6号、375～381ページ</li> </ul> <p>6) 被引用：<u>Uchiyama M</u>、Demura S「Low visual acuity is associated with the decrease in postural sway」『Tohoku Journal of Experimental Medicine』2008年、第216巻3号、277～285ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Pei L-L、Li H-Y、Fu Y-F、Li J-T「Stabilization of human postural control based on visual feedback of deviation of center of pressure」『Chinese Journal of Biomedical Engineering』2012年、第31巻5号、790～794ページ</li> <li>• Kanegaonkar RG、Amin K、Clarke M「The contribution of hearing to normal balance」『Journal of Laryngology and Otology』2012年、第126巻10号、984～988ページ</li> <li>• Mohapatra S、Krishnan V、Aruin AS「Postural control in response to an external perturbation：Effect of altered proprioceptive information」『Experimental Brain Research』2012年、第217巻2号、197～208ページ</li> <li>• Mohapatra S、Krishnan V、Aruin AS「The effect of decreased visual acuity on control of posture」『Clinical Neurophysiology』2012年、第123巻1号(1)、173～182ページ</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) 日本体育測定評価学会「測定評価研究」、論文(和文)査読一件</p>
--	---

渡部 昌平 准教授

<b>I 著書・学 術論文等</b>	<p>* 著書</p> <p>1) 『大学生のための「キャリア設計」書き込みノート』(三文舎) 2012年4月1日(単著)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 渡部昌平、土屋梨恵「本学におけるキャリア教育の方向性の検討(1)～学生の実態把握を中心に」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2012年3月31日、第13号、53～58ページ(共著)</p>
<b>II 学会報告 等</b>	<p>* 学会報告</p> <p>1) 渡部昌平「目標設定を学生任せにすることの問題点について」日本教育カウンセリング学会第10回研究発表大会ポスター発表、2012年8月18日(於：京都華頂大学)</p>
<b>III 社会活動 ・受賞等</b>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 大学コンソーシアムあきた 学生の人間力育成に係る教職員ワーキンググループ委員、2011年7月～</p> <p>2) 秋田県生涯学習センター運営協議会委員、2011年11月～2012年10月</p> <p>3) 秋田県キャリア教育推進協議会委員長、2012年5月～</p> <p>4) 秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～</p> <p>5) 秋田県生涯学習審議会委員、2012年10月～</p> <p>6) 秋田県キャリア教育推進フォーラムコーディネーター、2012年11月2日(於：秋田県総合教育センター)</p> <p>7) 秋田県ジョブ・カード運営本部会議委員長、2012年11月～</p>
<b>IV 講演・公 開講座等</b>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田労働局マッチング研修講師、2012年2月3日(於：秋田労働局)</p> <p>2) 産業カウンセラー養成講座講師「キャリア・カウンセリング」、2012年6月3日(於：アイーナ岩手県民情報交流センター)</p> <p>3) 中学校新任進路指導主事研修講座講師「中学校におけるキャリア教育」、2012年6月7日(於：秋田県総合教育センター)</p> <p>4) 本荘由利教育研究会研究集会講師「小・中学校におけるキャリア教育」、2012年8月1日(於：西目シーガル)</p> <p>5) 湯沢雄勝小・中学校一斉研究会進路指導研修会講師「教員や児童・生徒が前向きになるキャリア教育」、2012年9月12日(於：羽後町文化交流施設「美里音」)</p> <p>6) キャリア教育推進研修講座Ⅱ講師「小学校におけるキャリア教育」、2012年10月25日(於：秋田県総合教育センター)</p>

<p><b>V その他の活動</b></p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 財文教協会研究助成 渡部昌平・渡部諭・小池孝範「「未来展望」を持つ学生を育てるキャリア教育に向けて」</p> <p>2) 秋田県立大学学長プロジェクト 渡部昌平・渡部諭・小池孝範「本学学生は「未来展望」を持っているか？－本学独自の新しいキャリア教育へ向けて－」</p>
------------------------	--

高階 悟 教授

<p><b>I 著書・学術論文等</b></p>	<p>* 学術論文等</p> <p>1) 高階悟「英語リメディアル教育と学力保証」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、69～76ページ（単著）</p> <p>* 報告</p> <p>1) 高階悟「グアム大学夏期語学研修」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、77～89ページ（単著）</p>
<p><b>II 学会報告等</b></p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) 高階悟「英語リメディアル教育と課題」日本リメディアル教育学会関東甲信越第1回研究大会、2012年3月10日（於：早稲田大学）</p> <p>2) 高階悟「海外語学研修と課題」東北英語教育学会第31回秋田研究大会、2012年6月24日（於：カレッジプラザ 大学コンソーシアムあきた）</p>
<p><b>III 社会活動・受賞等</b></p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県 TOEIC 推進協議会副委員長、2008年4月～</p> <p>2) 東北英語教育学会理事、2006年4月～</p> <p>3) 日本リメディアル教育学会理事、2011年10月～</p> <p>4) 秋田英語英文学会運営委員、2006年4月～</p> <p>5) 日本アメリカ文学会東北支部会計監査、2012年4月～</p>
<p><b>IV 講演・公開講座等</b></p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っでの英語の授業」（秋田西高校生15名、金足農業高校6名、大曲農業高校7名、秋田北鷹高校1名）、2012年7月22日（於：秋田県立大学）</p>
<p><b>V その他の活動</b></p>	<p>* 報告書等</p> <p>1) 事例報告『大学における学習支援への挑戦』日本リメディアル教育学会監修 ナカニシヤ出版、2012年9月15日、186－187ページ</p>

## 高橋 守 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) スティーヴン・シュカート、高橋守「Storytelling in the CBI classroom: pedagogy, practice, and theory」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、91～98ページ（共著）</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) スティーヴン・シュカート、高橋守「On Creative Writing」日本アメリカ文学会東北支部1月例会、2012年1月28日（於：東北大学）</p> <p>2) スティーヴン・シュカート、高橋守「Basic principles and technics in teaching story writing」全国語学教育学会 分野別研究部会2012年年次大会、2012年6月17日（於：広島大学）</p> <p>3) 高橋守、スティーヴン・シュカート「Choosing a graded reader: Plot-driven versus character-driven stories」全国語学教育学会第38回年次国際大会、2012年10月13日（於：アクトシティ浜松）</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田県立大学市民公開講座 講師「英語で物語を語ろう」、2012年4月14日（於：由利本荘市文化交流会館）</p> <p>2) 大学高校連携授業 講師「高校生英語セミナー」、2012年10月15日、10月22日、10月29日（於：秋田県立大学）</p> <p>3) 秋田県立角館高校 平成24年度 大学模擬授業 講師「専門分野における今日の課題とその解決」、2012年10月31日（於：角館高等学校）</p> <p>4) 外部講師による英語学習活動 講師「海外研修のことを英語で作文しよう」、2012年11月29日（於：由利高等学校）</p>
V その他の活動	<p>* 翻訳</p> <p>『聖公会へようこそ 米国聖公会の歴史、信仰、礼拝入門』（聖公会出版）2012年12月25日（共訳）</p>

## 檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in <i>The Blickling Homilies</i>: Part III」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、99～109ページ（単著）</p>
------------	--



IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 「教養と遊ぶ」県立大学市民公開セミナー「英文読解のキホン～攻め方・踊り方～」、2012年4月21日（於：由利本荘市文化交流館カダーレ）</p> <p>2) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2012年5月14日、5月21日、5月28日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p>
-------------	--

## Stephen A. Shucart 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文</p> <p>1) <u>スティーヴン・シュカート</u>、高橋守「Storytelling in the CBI classroom: pedagogy, practice, and theory」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、91～98ページ（共著）</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) <u>スティーヴン・シュカート</u>、高橋守「On Creative Writing」日本アメリカ文学会東北支部1月例会、2012年1月28日（於：東北大学）</p> <p>2) <u>スティーヴン・シュカート</u>、高橋守「Basic principles and technics in teaching story writing」全国語学教育学会 分野別研究部会2012年年次大会、2012年6月17日（於：広島大学）</p> <p>3) 高橋守、<u>スティーヴン・シュカート</u>「Choosing a graded reader: Plot-driven versus character-driven stories」全国語学教育学会第38回年次国際大会、2012年10月13日（於：アクトシティ浜松）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員（広報担当）、1999年6月～</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>2) 大学高校連携授業 講師「高校生英語セミナー」、2012年6月4日、6月25日、7月9日（於：秋田県立大学）</p>
V その他の活動	<p>* 報告書等</p> <p>1) 「秋田支部報告」全国語学教育学会『The Language Teacher』、2012年第36巻 第1号、第2号、第5号、第6号</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) 査読委員 全国語学教育学会 CALL SIG「CALL-EJ (<a href="http://callej.org/">http://callej.org/</a>)」</p>



岡崎 弘信 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 岡崎弘信、新田晴彦、木戸和彦「オリジナル学習支援プログラム 「映画英語リスニング・システム」 の実践的運用とその検証」『映画英語教育研究』(映画英語教育学会) 2012年3月30日、第17号、21～31ページ (共著)</li> <li>2) Hashimoto S、<u>Okazaki H</u>「PREMA: An Extensive Reading Work-in-progress」『Procedia-Social and Behavioral Sciences』(Elsevier) 2012年4月、第34号、88～93ページ (共著)</li> <li>3) Nitta H、<u>Okazaki H</u>、Klinger W「JCAB English Test and ATC Communications Speech Speeds」『Studies in The Humanities: The Journal of the Senshu University Research Society』(Senshu University) 2012年3月、第90号、359～375ページ (共著)</li> </ol> <p>* Proceeding</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) <u>Okazaki H</u>、Hashimoto S、Fukuda E、Nitta H、Kido K「Development of an e-learning program for extensive reading」『2012 EUROCALL Proceedings』(Research-publishing.net) 2012年12月、228～233ページ (共著)</li> <li>2) Fukuda E、<u>Okazaki H</u>、Hashimoto S「Enhancing metacognitive awareness on first and second reading and writing mediated by social networking websites」『2012 EUROCALL Proceedings』(Research-publishing.net) 2012年12月、93～98ページ (共著)</li> </ol>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) <u>Okazaki H</u>、Hashimoto S、Fukuda E、Nitta H、Kido K「Development of an e-learning program for extensive reading」Euro CALL 2012、2012年8月22～25日 (於：University of Gothenburg、Sweden)</li> <li>2) Fukuda E、<u>Okazaki H</u>、Hashimoto S「Enhancing metacognitive awareness on first and second reading and writing mediated by social networking websites」Euro CALL 2012、2012年8月22～25日 (於：University of Gothenburg、Sweden)</li> <li>3) <u>Okazaki H</u>、Nitta H、Kido K、Fukuda E「Japanese comic books and animation as English language material」The 18th ATEM National Conference、2012年8月6日 (於：京都女子大学)</li> <li>4) 岡崎弘信、木戸和彦、福田衣里、江原智子、水野純次「外国語としての英文リーディングにおける脳波α波積分値の変化」外国語教育メディア学会第52回全国研究大会、2012年8月7～9日 (於：甲南大学)</li> </ol> <p>* 学会報告座長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外国語教育メディア学会第52回全国研究大会、研究発表・実践報告・公募シンポジウム (リーディング・ライティング部門)、2012年8月7～9日 (於：甲南大学)</li> </ol>

<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県生活環境文化部県民文化政策課主催 「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員、2012年4月～</p> <p>2) TDK 由利本荘(株)英語アドバイザー、2011年6月～</p> <p>* 受賞等</p> <p>1) 第1回映画英語教育学会論文賞、2012年8月6日</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 外国語教育メディア学会関東支部運営委員、2010年5月～2012年7月</p>
<p>Ⅳ 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田県立大学市民公開セミナー「教養と遊ぶ」、2012年4月14日（於：由利本荘市文化交流館「カダーレ」）</p> <p>2) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業、2012年11月5日、19日、26日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p>
<p>Ⅴ その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）、「視線解析と光イメージング脳機能測定を併用した英文読解の個人差特定に関する研究」（研究課題番号24652124）、2012年4月～2014年3月、研究代表者</p> <p>2) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(C)）、「日本人英語学習者の弱点を集中的に個別矯正する多読・速読プログラムの開発と実践研究」（研究課題番号20520507）、2008年4月～2012年3月、研究代表者</p> <p>3) 財文教協会調査・研究助成、「「学習成果」を可視化するための英語運用能力弱点マップの研究」、2011年7月～2012年6月、研究代表者</p> <p>4) 外国語教育メディア学会関東支部公募プロジェクト研究補助金、「多様な記録メディアの音声素材を教材化する音読学習端末の研究と開発」、2011年7月～2013年3月、研究代表者</p> <p>5) 平成24年度秋田県立大学学長プロジェクト（創造的研究費）、「視線追尾システムによる英語リーディングの個人差特定に関する研究」、2012年6月～2013年3月、研究代表者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 科研費実績報告書：日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(C)）、「日本人英語学習者の弱点を集中的に個別矯正する多読・速読プログラムの開発と実践研究」（研究課題番号20520507）、2008年4月～2012年3月、研究代表者</p> <p>2) 研究助成金実施報告書：財文教協会調査・研究助成、「「学習成果」を可視化するための英語運用能力弱点マップの研究」、2011年7月～2012年6月、研究代表者</p>

	<p>* 選評</p> <p>岡崎弘信「はじめての選考」『あきたの文藝』（秋田県）2012年10月25日、第45集、96～97ページ</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) Language Education &amp; Technology Vol.49（1本）</p> <p>2) 日本 e-Learning 学会誌 Vol.12（1本）</p>
--	--

## Terri L. Nagahashi 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Nagahashi, T. L. 「Beneficial effects of a three-week intervention program on the promotion of learner autonomy」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2012年3月31日、第13号、111～127ページ（単著）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 第65回秋田県中学校英語暗唱・弁論大会兼第64回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会 秋田県予選審査員、2012年9月20日（於：秋田県生涯学習センター）</p> <p>2) 英検2級試験監督、2012年6月10日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）</p> <p>3) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、2012年5月26日、27日（於：由利本荘市矢島町城内字桃野）</p> <p>4) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊一体験から持続的交流へ」ボランティアリーダー、2009年5月～</p> <p>5) あきたキイチゴ活用研究会研究員、2008年～（於：秋田県、五城目町）</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 平成24年度あきたキイチゴ活用研究会講演「Utility of raspberry byproduct (seeds and pulp) in raspberry liqueur and infused raspberry vinegar.」2012年11月22日（於：秋田県、五城目町）</p> <p>2) 平成24年度秋田県立大学高大連携授業（Assistant Director）「秋田県立大学に隣接する高校生等によるコンピュータを使っでの英語学習について」、7月22日（於：秋田県立大学）</p> <p>3) 「平成23年度の成果と今後の展望」キイチゴ研究報告会「An introduction to value-added raspberry products」、2012年1月27日（於：秋田県、五城目町）</p>
V その他の活動	<p>* その他</p> <p>1) 平成24年度秋田県立大学海外研修ツアーリーダー「Explore Oregon, USA」、2012年8月30日～9月9日）</p> <p>2) 平成24年度秋田県立大学自主研究指導教員「秋田産ラズベリーによる地域復興」、2012</p>

	<p>年 6 月～</p> <p>3) 秋田県立大学サークル顧問「The Harvest Club」、2011年 4 月～</p>
--	---

加賀谷 真澄 助教

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) 加賀谷真澄「ウィリアム・ブースと明治日本の知識人との近接：『日本之下層社会』誕生の背景」『文学研究論集』(筑波大学比較・理論文学会) 2012年 2 月28日、第30号、49～63ページ (単著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) 加賀谷真澄「明治知識人のイースト・エンドとの遭遇」英米文化学会第137回例会、2012年 3 月10日 (於：日本大学)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 第 4 回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト審査員、2012年11月17日 (於：秋田工業高等専門学校)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 人権問題研究集会講演講師「文学と差別—海外逃避の物語」、2012年 7 月 4 日 (奈良女子大学)</p> <p>2) 大学高校連携授業「コンピュータを使っの英語の授業」(秋田西高校生 15名、金足農業高校 6 名、大曲農業高校 7 名、秋田北鷹高校 1 名)、2012年 7 月22日 (於：秋田県立大学)</p>